

# 県民文化会館及び周辺県有地 「活用の方向性」の改訂について

---

令和7年10月29日（水）

愛媛県

# 基本的な考え方

県総合計画に掲げる将来像「若者をはじめ、県民誰もが自らの希望を実現でき、安全・安心で豊かな人生を送れる持続可能な愛媛県」の実現に向けては、国内外からの新しい人の流れを作り、交流人口の拡大を図るとともに、県民のシビックプライド(誇り・愛着)醸成にもつながるまちづくりが重要です。

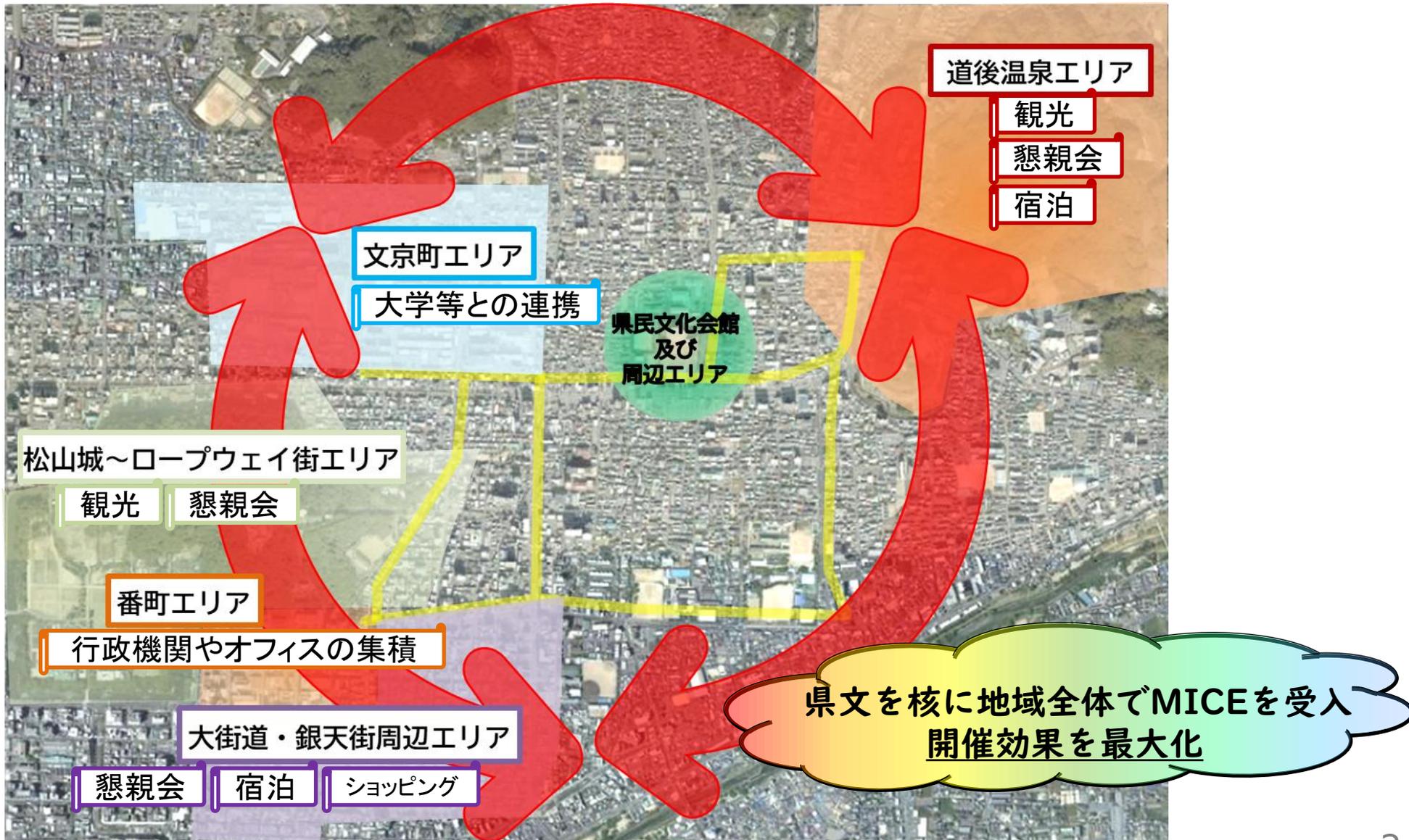
一方で、県都松山市は、四国地方で最大の人口を擁し、高い都市機能や道後温泉をはじめとした全国有数の観光資源を有するものの、多様なMICE開催に対応できる機能を備えた利便性の高い施設等が不足しており、他県でMICE関連施設の整備が進む中、地域間競争を勝ち抜くためには、本県においてもMICE機能強化の必要性が高まっています。

このため、将来にわたる本県経済の活性化や、瀬戸内エリアでの中核拠点性の維持・向上に向けて、国内外からの認知度向上と誘客促進に直結し、県内への経済波及効果が見込まれるMICE機能の強化を目指して、県民文化会館及び周辺県有地を活用します。



# 県民文化会館及び周辺県有地におけるMICE機能強化の意義

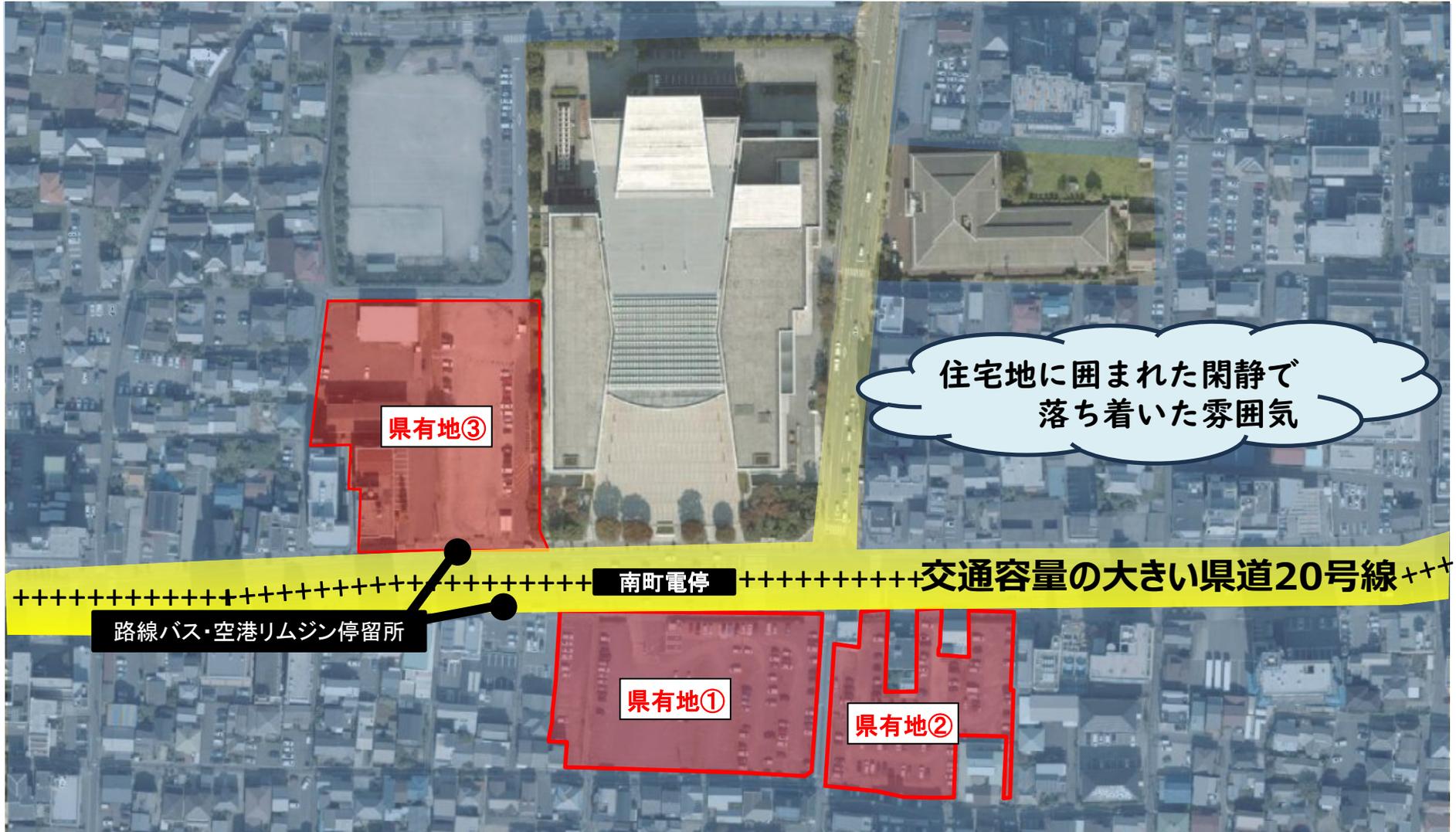
## ① 主要な都市機能の結節点であることを生かし、回遊性を向上



出典：国土地理院撮影の空中写真（2018年撮影）を加工して作成

# 県民文化会館及び周辺県有地におけるM I C E機能強化の意義

## ② 恵まれた交通環境と閑静なロケーション



出典：国土地理院撮影の空中写真（2018年撮影）を加工して作成

## ③ 県民文化会館の文化的価値と機能的価値の高さ

### 文化的価値

「世界の丹下」と称される建築家の故・丹下健三氏が「愛媛の新しい文化の発展の拠点となり、後世に残し得る文化遺産となる建物」というテーマで手掛けた世界に誇れる文化的価値の高い建築物であり、その希少性から特別感のあるMICE会場を演出することが可能



### 機能的価値

「メインホール」に加えて「サブホール」や「真珠の間」、自然光を取り入れた吹き抜け大空間である「県民プラザ」を配置し、大規模な式典や会議等が開催可能な県内最大級の施設として機能的価値の高さも兼ね備える

メインホール



真珠の間



県民プラザ



# 県民文化会館及び周辺県有地におけるMICE機能強化の意義

県都松山市の  
主要な都市機能の結節点

恵まれた交通環境と  
閑静なロケーション

県民文化会館の  
文化的価値と  
機能的価値の高さ

MICE誘致を有利に進められる複数の特長を併せ持つ  
県内随一のエリアを活用し将来の発展につながるMICE拠点を実現

- 近年のMICEニーズに対応できるように県民文化会館を機能強化
- 周辺にMICE関連施設（会議施設・宿泊施設等）を一体的に整備

# MICE機能強化が本県にもたらす効果

## 県文周辺エリアのポテンシャル

- 都市機能の結節点
- 交通環境・閑静なロケーション
- 「世界の丹下建築」の価値

MICE  
機能強化



## MICEニーズへの対応

- 県文の設備拡充
- 会議施設・駐車場の増強
- 宿泊施設等の誘致

県文周辺エリアにおいて競争力のあるMICE拠点整備を実現

## 交流人口の更なる拡大

- ◆ MICE開催に伴う消費
- ◆ MICE前後の観光需要

県内全域・幅広い産業へ  
経済効果が波及

- ◆ 来訪者と県民の交流

ビジネス、学術研究など  
様々な分野における発展

- ◆ 知名度やイメージ向上

愛媛のブランド力強化



## 県文周辺エリアにおける魅力の更なる向上

- ◆ 県民主体のイベント等の場の提供
- ◆ 県民の憩いの場  
良好な景観の形成

豊かな県民生活  
賑わい創出に寄与

“県民のシビックプライド醸成”  
“国内外へ県文の価値を発信”  
“道後温泉エリアと一体的な賑わい  
空間が生まれる” など  
更なる波及効果の可能性

将来にわたる  
本県経済の活性化

瀬戸内エリアにおける  
中核拠点性の維持・向上

# MICE機能強化に向けた県民文化会館のSWOT分析

Strength (強み)	Weakness (弱み)
<ul style="list-style-type: none"><li>● 丹下建築としての価値</li><li>● 都市機能の結節点に位置する立地特性</li><li>● 西日本最大級のメインホール</li><li>● 県内最大級のバンケットホール</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 展示場に活用できる平土間ホールの不足</li><li>● 分科会場に活用できる会議室の不足</li><li>● 近年のMICE開催形態などへの対応</li><li>● 近接する宿泊施設等の不足</li><li>● 駐車場規模の確保</li></ul>
Opportunity (機会)	Threat (脅威)
<ul style="list-style-type: none"><li>● 国のMICE推進施策</li><li>● インバウンド需要の増加</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 人口減少問題・東京一極集中</li><li>● 海外からの知名度の低さ</li><li>● 他県におけるMICE拠点整備</li></ul>

# MICE機能強化に向けて重視する視点

「本県経済の活性化」・「瀬戸内エリアでの中核拠点性の維持・向上」を図るため、MICE機能強化に向けて、これらの視点を重視します。



## 競争力のあるMICE拠点整備

- 県民文化会館周辺に利便性の高いMICE関連施設を一体的に配置
- 経済効果の高い国際会議や2,000～2,500人規模の学会、大会などをターゲットに誘致競争力を強化



## MICE誘致・運営支援体制の刷新

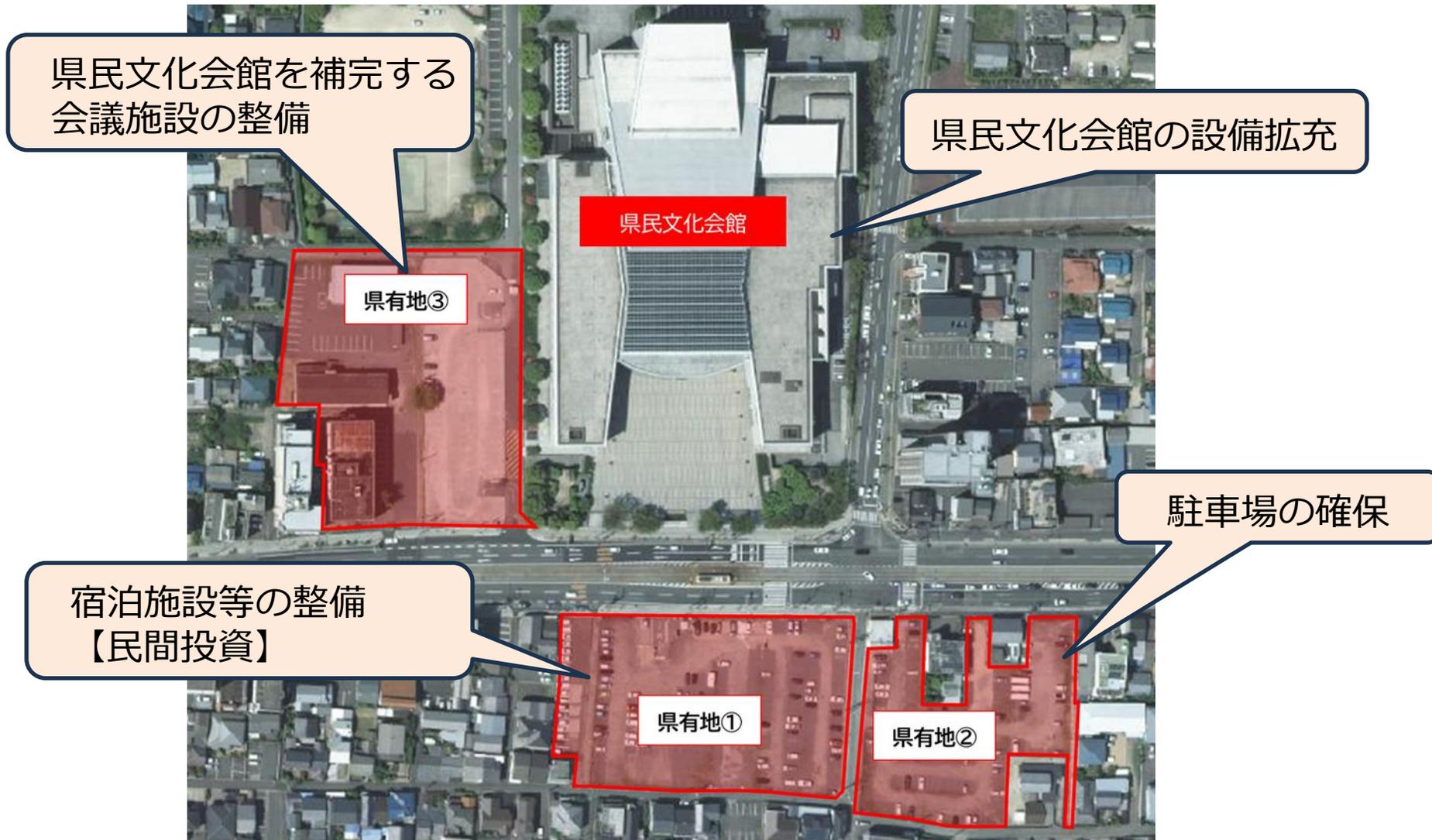
- 県、市町、関係機関等のネットワークを強化し、オール愛媛で体制を刷新
- MICE拠点の整備段階から体制を構築し、誘致に向けた営業活動を開始
- 多様な「M・I・C・E」誘致を推進

※民間の有するノウハウを積極的に活用

# 施設配置等の想定

<留意事項>

現時点の想定であり、民間事業者に対するサウンディング調査の結果に応じて必要な見直しを行う



出典：国土地理院撮影の空中写真（2018年撮影）を加工して作成

# MICE 関連施設の整備内容等（県）

## （1）県民文化会館の設備拡充

（MICE主催者ニーズを満たし競争力強化につながる内容を優先的に検討しつつ、老朽化している設備・備品等の計画的な更新も検討）

区分	内容
館内共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モバイル端末が円滑に使用できる環境整備</li> <li>・デジタルサイネージ等での案内表示の充実</li> <li>・ユニバーサルデザイン（多言語表記など）への対応</li> <li>・環境配慮（LED化など）への対応</li> </ul>
会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・映像設備の更新</li> </ul>

## （2）県民文化会館を補完する会議施設・駐車場等の整備

区分	内容	備考
会議室機能	<p><b>会議室（300㎡程度・定員200～300人規模）×（3～4室程度）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・複数の分科会場が必要な大規模会議などの誘致競争力を強化【C】</li> <li>・会議室増設により各種MICE開催時の利便性を向上【M・I・C・E】</li> </ul>	左記の機能を備えた会議施設の整備を想定 （県有地③）
展示機能	<p><b>平土間ホール（1,500～2,000㎡程度）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・展示（ポスターセッション、機器展示など）を伴う大規模会議などの誘致競争力を強化【C】</li> <li>・展示会、見本市などのキャパシティを拡大【E】</li> </ul>	
駐車場機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県民文化会館周辺の需要を満たす駐車場規模を確保し、カーシェア、シェアサイクル等のモビリティによる周辺エリアへの回遊を促進【M・I・C・E】</li> </ul>	駐車場の整備を想定 （県有地②）

※その他機能向上に必要な付帯施設については、別途検討

※埋蔵文化財調査は県が実施

# 県民文化会館を補完する会議施設に係る規模の検討

	施設規模
参加可能人数 (最大)	2,000人～2,500人 程度
平土間ホール	1,500m <sup>2</sup> ～2,000m <sup>2</sup> 程度
会議室 (300m <sup>2</sup> 程度)	3室～4室 程度
延床面積	5,300m <sup>2</sup> ～7,100m <sup>2</sup> 程度

県民文化会館と会議施設を利用することで、全体会・分科会・各種展示・懇親会等を1か所で完結でき、かつ、複数の分科会や展示等を同時進行できるという条件が満たせるよう、参加可能人数に応じて施設規模を設定した。

# M I C E 関連施設の整備内容等（民間）

民間事業者主体による宿泊施設等の整備について次の内容を想定

## （１）民間事業者による整備を期待する内容

- ・ V I P にも対応（海外富裕層にも訴求）できる質の高い客室や会食会場、リラクゼーション施設等の提供【M・I・C・E】
- ・ 参加者の利便性向上や、恒常的な賑わいの創出につながる飲食、物販など、民間事業者の自由な提案に基づく付帯施設【M・I・C・E】

## （２）宿泊施設等と会議施設が近接することにより期待される効果

### ① M I C E 参加者の満足度向上

- ・ 宿泊施設等と会議施設との円滑な移動が可能であり、宿泊する参加者の負担を軽減
- ・ 会議等の合間に、宿泊施設等の客室やリラクゼーション施設等で休憩、リフレッシュが可能

### ② M I C E 主催者の運営面での負担軽減

- ・ 会期が数日にわたる M I C E 開催時のレセプション会場等の選択肢が増加
- ・ M I C E 開催に伴う V I P への対応や商談等を行う会場の円滑な手配が可能

# M・I・C・Eの施設活用例

## Meeting

(会議・研修など)

- ・企業の支店長会議
- ・ビジネス関連セミナー など

## Incentive travel

(報酬・研修旅行など)

- ・営業成績優秀者の報酬旅行
- ・企業の研修旅行 など

## Convention/Conference

(国際会議・学会など)

- ・学会が主催する学術会議
- ・経済団体等の関連会議 など

## Exhibition/Event

(展示会・見本市など)

- ・企業の展示会、商談会
- ・文化行事、地域イベントなど

【既設】 県民文化会館・本館

### ホール (固定席)

メイン2,725席、サブ912席

→株主総会、社員総会等

### 真珠の間 (1,067㎡)

バンケット

→会議後の懇親会

### 会議室9室

(少人数～100人強まで)

会議、研修、セミナー

→参加者100人の会議等

### ホール (固定席)

メイン2,725席、サブ912席

→成績優秀者の表彰式

### 真珠の間 (1,067㎡)

バンケット

→旅行参加者の懇親会

### 会議室9室

(少人数～100人強まで)

会議、研修、セミナー

→参加者100人の研修等

### ホール (固定席)

メイン2,725席、サブ912席

→総会、式典等

### 真珠の間 (1,067㎡)

バンケット

→レセプション・懇親会

### 会議室9室

(少人数～100人強まで)

分科会、会議、セミナー

→定員100人の分科会 (2室)

### ホール (固定席)

メイン2,725席、サブ912席

→文化行事、コンサート等

### 真珠の間 (1,067㎡)

展示会場

→展示会・商談会等

### 会議室9室

(少人数～100人強まで)

準備室、控室

→出展者の控室等

【新設】

ホテル  
会議施設

(西側) (南側)

### 会議室3～4室

(300人程度まで)

会議、研修、セミナー

→参加者200人の会議等

### 平土間ホール

(1,500～2,000㎡)

会議、研修、セミナー

→採用イベント等

### 宿泊施設等

宿泊、VIP対応

→参加者の宿泊受入れ等

### 会議室3～4室

(300人程度まで)

会議、研修、セミナー

→参加者200人の研修等

### 平土間ホール

(1,500～2,000㎡)

表彰等の会場

→歓迎イベント等

### 宿泊施設等

宿泊、VIP対応

→研修旅行の宿泊受入れ等

### 会議室3～4室

(300人程度まで)

分科会、会議、セミナー

→定員200人の分科会

### 平土間ホール

(1,500～2,000㎡)

展示会場

→ポスターセッション等

### 宿泊施設等

宿泊、VIP対応

→参加者の宿泊受入れ等

### 会議室3～4室

(300人程度まで)

展示会場

→小規模な展示会・商談会等

### 平土間ホール

(1,500～2,000㎡)

展示会場

→展示会・商談会等

### 宿泊施設等

宿泊、VIP対応

→VIPへの対応等

# 活用イメージ

## M<sup>eeting</sup>

企業等が行う会議



の場合

### 県民文化会館

【メインホール】  
株主総会、  
社員総会



【レストラン】  
歓迎パーティー



【サブホール】  
入社式



【各会議室】  
小規模会議  
(定員100人程度)



【真珠の間】  
懇親会



### 会議施設(新設・県有地③)

【各会議室】  
中規模会議(定員200人~400人超)  
300㎡×(3~4室)



【平土間ホール】  
(1,500~2,000㎡)  
採用イベント



**Point**  
用途に応じて、レイアウトが変更でき、汎用性・利便性が向上



### 宿泊施設等

(新設・県有地①)



休憩



モバイルワーク



**Point**  
・宿泊施設等と会議施設の円滑な移動  
・VIPにも対応できる質の高い客室や  
会食会場、リラクゼーション施設等の提供  
・参加者の利便性向上や、恒常的な販賣の  
創出につながる飲食、物販など



### 駐車場

(新設・  
県有地②)



**Point**  
・需要を満たす駐車場  
規模を確保  
・モビリティによる周辺  
エリアへの回遊を促進



# 活用イメージ

## Incentive travel

表彰、研修等を目的とした旅行



の場合

### 県民文化会館

【メインホール】  
表彰式



【レストラン】  
カフェ、休憩



【サブホール】  
事例発表



【各会議室】  
休憩室

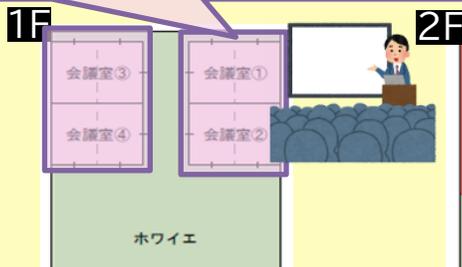


【真珠の間】  
懇親会



### 会議施設(新設・県有地③)

【各会議室】  
セミナー(定員200人~400人超)  
300㎡×(3~4室)



【平土間ホール】  
(1,500~2,000㎡)  
歓迎イベント



### 宿泊施設等

(新設・県有地①)



リフレッシュ、宿泊等



#### Point

- ・宿泊施設等と会議施設の円滑な移動
- ・VIPにも対応できる質の高い客室や会食会場、リラクゼーション施設等の提供
- ・参加者の利便性向上や、恒常的な販賣の創出につながる飲食、物販など

### 駐車場

(新設・県有地②)



#### Point

- ・需要を満たす駐車場規模を確保
- ・モビリティによる周辺エリアへの回遊を促進

#### Point

用途に応じて、レイアウトが変更でき、汎用性・利便性が向上

# 活用イメージ

## Convention

## Conference



国際機関・団体、学会等が主催または後援する会議

の場合

### 県民文化会館

【メインホール】  
総会、式典



【真珠の間】  
懇親会



【ホール】 【第6、8会議室】  
分科会 分科会  
(総会等の 定員100人  
終了後は 程度×2室)  
分科会に)

上記以外(定員100人未満  
会議室)は事務局用としての  
利用を想定



### 会議施設(新設・県有地③)

【各会議室】  
分科会(定員200人~400人超)  
300㎡×(3~4室)

【平土間ホール】  
(1,500~2,000㎡)  
ポスターセッション等



### 宿泊施設等

(新設・県有地①)



リフレッシュ、宿泊等



#### Point

- ・宿泊施設等と会議施設の円滑な移動
- ・VIPにも対応できる質の高い客室や会食会場、リラクゼーション施設等の提供
- ・参加者の利便性向上や、恒常的な販賣の創出につながる飲食、物販など

### 駐車場

(新設・  
県有地②)



#### Point

- ・需要を満たす駐車場規模を確保
- ・モビリティによる周辺エリアへの回遊を促進

#### Point

用途に応じて、レイアウトが変更でき、汎用性・利便性が向上

# 活用イメージ

**E**xhibition

展示会、見本市



**E**vent

イベント等



の場合

## 県民文化会館

【メインホール】  
コンサート等



【レストラン】  
カフェ、休憩



【サブホール】  
発表会



【各会議室】  
準備室、控室



【真珠の間】  
展示会



## 会議施設(新設・県有地③)

【各会議室】  
小規模な展示会等  
300㎡×(3~4室)



【平土間ホール】  
(1,500~2,000㎡)  
ファッションショー



## 宿泊施設等

(新設・県有地①)



商談 宿泊(前泊、後泊)



- Point**
- ・宿泊施設等と会議施設の円滑な移動
  - ・VIPにも対応できる質の高い客室や会食会場、リラクゼーション施設等の提供
  - ・参加者の利便性向上や、恒常的な販賣の創出につながる飲食、物販など



## 駐車場

(新設・  
県有地②)



- Point**
- ・需要を満たす駐車場規模を確保
  - ・モビリティによる周辺エリアへの回遊を促進



**Point**  
用途に応じて、レイアウトが変更でき、汎用性・利便性が向上



# 宿泊施設等の整備の進め方

- 民間事業者の参入意向等を把握するサウンディング調査を通じて投資環境の動向も見極めつつ、事業化の実現性を高めるための公募要件等の検討を丁寧に進めます。
- 公募要件決定後は、民間のアイデアを最大限活用するため、公募型プロポーザル方式により、事業協力者を募集することを想定しています。

R7年度	10月29日	県民文化会館及び周辺県有地活用の方向性の公表
	公表以降	サウンディング調査・公募要件等の検討
(時期未定)		検討会議での意見聴取（事業協力者の公募要件等）
		事業協力者の募集